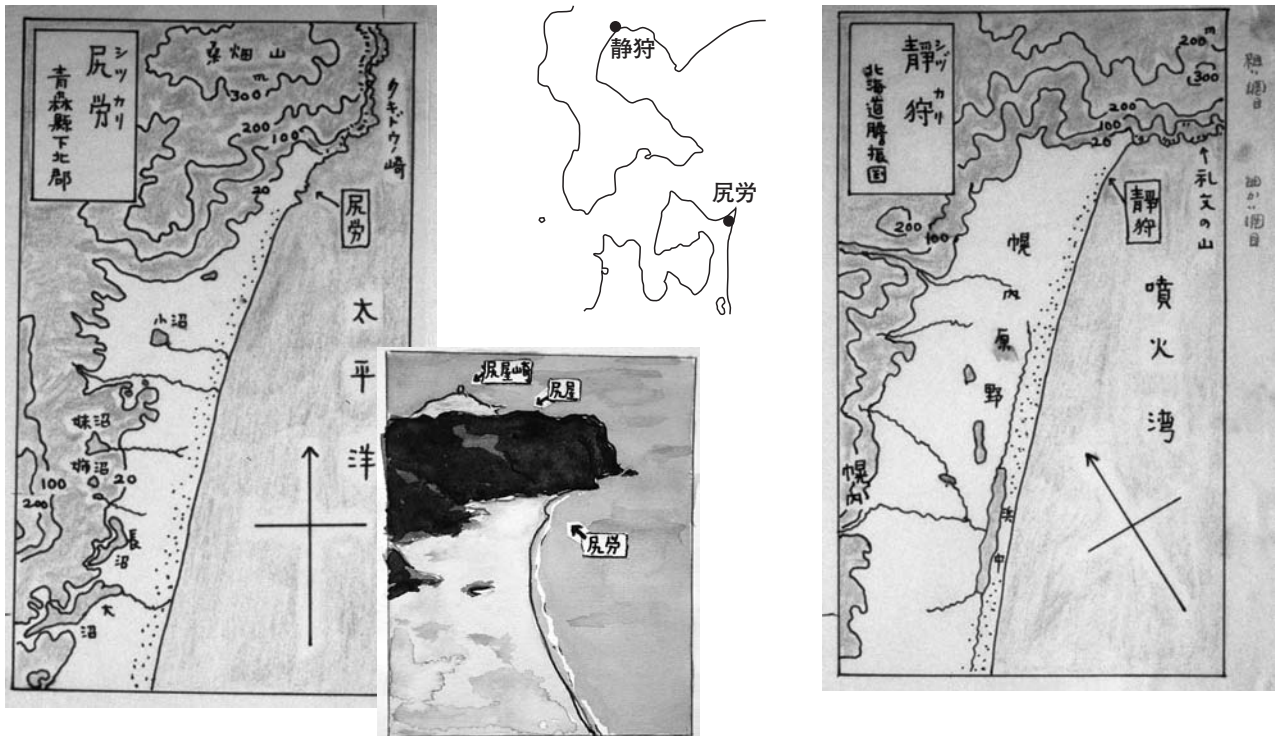


アイヌ民族文化研究センターだより NO.28

2008年3月

企画展「アイヌ語地名を歩く」
平成20年度は 函館市で開催します
詳しくは8ページをご覧ください。

山田秀三^{ひでぞう}文庫の資料から
青森県東通村の「尻^{ひがしどおり}勞^{しつかり}」と長万部町の「静^{おしまんべ}狩^{しづかり}」
(『東北と北海道のアイヌ語地名考』の図版原稿：資料番号[YM1147])



上の左右の地図2点は、山田秀三『東北と北海道のアイヌ語地名考』(1957年)の16、17ページ(『アイヌ語地名の研究 山田秀三著作集 第3巻』にも再録。24、25ページ)に掲載されている図の原稿。欄外の書込みは山田氏による印刷の指示事項。いずれも山田氏による自筆の地図である。

『東北と北海道のアイヌ語地名考』には、当時の静狩の写真や、上のスケッチも併せて掲載されている。

●もくじ

山田秀三文庫の資料から
青森県東通村の「尻勞」と長万部町の「静狩」… 1
『ボン カンピツシ』の写真から [4]
負^{シツカリ}ぶ^{シツカリ}い^{シツカリ}紐 …………… 2
研究課題紹介
吉田巖^{シツカリ}関係資料の調査研究 …………… 3
平成20年度から公開する資料 …………… 4
寄贈を受けた資料 …………… 6
お知らせ …………… 8

シツカリ 尻勞の意味

「下半島は尻屋崎の突角から、太平洋岸を少し南に下った所に「尻勞」という土地がある。(中略)十年ばかり前に、北海道の静狩金山(現在は廃山)に気がついた。大変音が似ている。(中略)シリ (sir「地面、土地、山」)・ト° (=トゥ) カリ (tukari「…の手前」) すなわち「山の手前」の意味で、発音上は前語の語尾のrが、後のtに引きつけられてtに転訛するのが、アイヌ語の常則^{オホマンベ}だそうである。

静狩は噴火湾岸で長万部のすぐ北である。南の八雲^{シツカリ}辺から長い長い砂浜の土地が静狩迄来て、ついに礼文の山塊に突当り、それから先は浜伝いができない。ただ「山の手前」ならどこにでもありそうはなはずだが、特に「山の手前」と名がついたのは、こうした特別の地形が注意を引いたからであろう。」

「左右の地図は同じ縮尺で、地形は五万分図から要点を写したものである(中略)地名を入れなくて出されたら取り違えそうな地図で、その同じ地形の場所に、北海道側にも本州側にも、酷似した発音の地名が存在しているのである。」

(山田秀三『東北と北海道のアイヌ語地名考』より)

当研究センターは、1995（平成7）年度から2004（平成16）年度まで毎年1冊ずつテーマを定め、アイヌ文化を紹介する小冊子『ポン カンピソシ』を発行してきました。このコーナーでは、小冊子に掲載した写真の中から毎回1枚の写真を取り上げ、紙面には盛り込めなかった説明などを補いながら、小冊子の中身を広げていきます。

小冊子8『民具』26ページには、背負い紐の写真を掲載しています。

右上：石狩
左下：千歳
(北海道大学北方生物圏フィールド
科学センター植物園所蔵)



赤ん坊の背負い方は、それぞれの民族により特徴があります。

アイヌの場合は、上の写真のような紐の両端に短い棒を結んで、「**おぶい紐**」に用いてきました。

* * * * *

荷物を運ぶ際に用いる紐は「tar(タラ、タル)」と呼ばれますが、赤ん坊の**おぶい紐**の作りはtarと基本的に同じです。シナ、オヒョウなどの内皮の繊維を糸にしたものを編んで紐を作り、中央部分には、長さ20cmほどの幅広の文様を編み込んだ部分を設けます。荷物運搬用の紐には長さが5mを超える長いものがありますが、**おぶい紐**はそれよりもやや短いものが多いようです。

荷物を運ぶ場合、荷物は紐の両端で縛り、額に中央の文様部を当てて背負います。赤ん坊を背負う際には、この紐の両端に長さ35cmほど、直径4cmほどの丸い棒を結びます。棒の両端は、結んだ紐が外れないように、^{えぐ}抉りを入れたり太くしたりしてあります。

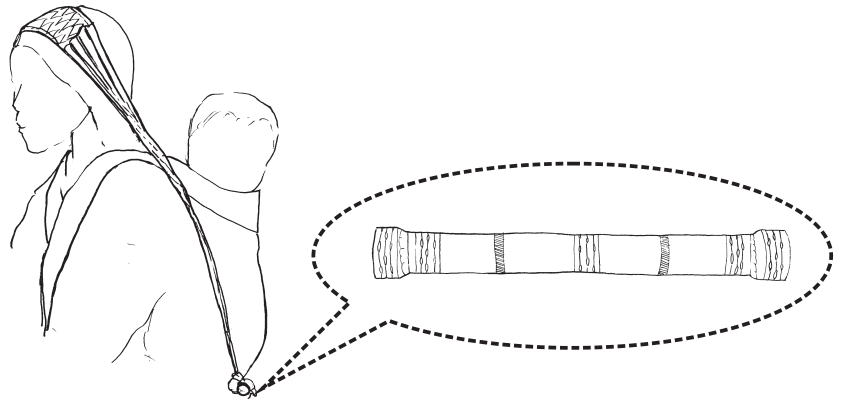
赤ん坊を背負う時は、文様部を額に当て、棒を赤ん坊のお尻の下へ当てるようにします。赤ん坊は背負う人の着物の中へ入れますので、この棒に赤ん坊の肌は直接触れません。脇は、額から背面へ伸びた紐で固定されるので、横にずれることもありません。

この棒には、祈りの道具であるイクパスイやイナウに見られる彫刻文様と同じような文様が施されているものがあります。神への祈りの道具に彫刻する文様と同じ文様を施すことには、子どもの成長を願う親の祈りが込められていたのかもしれません。

* * * * *

このような育児に関する資料、子ども服、おもちゃなどで、アイヌ民具として古くから伝わっているものは非常に少ないです。

とくに、**おぶい紐**は、紐と棒とが組になって残されているものが少なく、棒だけが残されていたりします。紐も、荷物用の紐と基本的に同じ作りなので区別が難しく、もともと**おぶい紐**として作られたにもかかわらず、荷物用とされている資料もあるのではないかと思います。



『シラオイコタン 木下清蔵遺作写真集』
(1988年、(財)アイヌ民族博物館)より「子を背負う」

研究課題紹介

よしだ いわお
吉田巖関係資料の調査研究

2006(平成18)年3月から新館に移転し、連日多くの人で賑わう帯広市図書館。その2階の郷土資料の一角に、郷土史研究者でありアイヌ文化研究者としても著名な吉田巖(1882~1963)の資料が展示されています。研究課題「吉田巖関係資料の調査研究」(2003(平成15)~2007(平成19)年度)は、この吉田巖という研究者に焦点をあて、その著作や関連する資料の情報を収集・整理し、これからの学習・研究などの一つの手引きを整備することを目指したものです。

* * * * *

吉田巖氏は福島県相馬郡中村(現在の相馬市)に生まれ、1906(明治39)年、十勝管内豊頃村二宮の興復社農場で働いていた親や親戚のもとに移住します。早くからアイヌ文化に関心を持ち、移住したその年のうちに音更の小学校の教員となり、以後、芽室や胆振管内の虻田、日高の平取などでアイヌの児童を集めた小学校の教員をつとめています。そして1915(大正4)年末に、アイヌ児童の教育を目的として設置された帯広の第二伏古尋常小学校(のち日新尋常小学校と改称)の教員となり、1931(昭和6)年の廃止まで、一学級のみだったこの学校の校長兼教員をつとめ、同校の廃止後も帯広に住み、地域のアイヌ文化や郷土史の調査ととりまとめを続けました。この間、『人類学雑誌』『民族学研究』などの専門誌に多くの論文や調査報告を掲載し、教員としての体験や回想をまとめた『心の碑』(1935年)などの著書も出版しています。

何より膨大なのは、亡くなる直前までほぼ毎日つけられた日記(吉田巖日記)をはじめとする記録資料です。アイヌの文化や歴史に関するさまざまな内容について、聞き取りなどを行って記述された資料や、それらを吉田氏自身が整理して作ったカード、原稿などが大量に遺されています。また学校教員などの職務を通じて収集した資料、各地の研究者らとの交友を通して交換した書簡や収集した資料なども確認されています。アイヌ語・アイヌ文化に関する論文には、研究史上で重要な位置を占めるもの、貴重な一次資料を提供しているもの等が少なくありません。教育や生活の問題に関する著述、古老からの聞き取りなどにも、他に類のない記録が多く見られます。

吉田氏は晩年、自ら資料を整理し、帯広市教育委員会による『帯広市社会教育叢書』として出版を開始しました。氏の没後も出版は継続され、遺された資料はご遺族の厚意によって帯広市教育委員会に寄贈されました。現在、資料は帯広市図書館において「吉田巖遺稿資料」として保管・整理されるとともに、『帯広市社会教育叢書』(現在は『帯広叢書』と改称)は2008(平成20)年2月時点で58冊が出版され、たいへん貴重な資料集となっています。

それでも、遺された膨大な資料と比べれば、これまで出版されたものは一部にとどまりません。また、吉田氏と交友関係のあった研究者や団体の資料の中に、吉田氏の書簡や関連する記録が遺されている例が、帯広市以外の幾つかの地域で確認されています。そして、吉田氏の著作や資料が既にこれだけ多く出版され、吉田氏の資料や著作を使った論文、その生涯・足跡などを論じた論文なども多く公刊されていることを考えると、こうした情報を集約し整理する必要も高くなっていると思われます。

それでも、遺された膨大な資料と比べれば、これまで出版されたものは一部にとどまりません。また、吉田氏と交友関係のあった研究者や団体の資料の中に、吉田氏の書簡や関連する記録が遺されている例が、帯広市以外の幾つかの地域で確認されています。そして、吉田氏の著作や資料が既にこれだけ多く出版され、吉田氏の資料や著作を使った論文、その生涯・足跡などを論じた論文なども多く公刊されていることを考えると、こうした情報を集約し整理する必要も高くなっていると思われます。

当センターではこのような背景を踏まえてこの研究課題を実施し、このたびそのまとめとして、調査研究報告書『吉田巖書誌』を編さんすることにしました。

文学などの分野では、著名な作家、研究者については、その人物に関する文献・資料の情報をまとめた「書誌」が作成され、学習・研究の手引きや案内として活用される例が多く見られます。しかし、アイヌ文化研究では、このような基礎的な研究情報の集約・整理の蓄積は少なく、近年ようやく『松浦武四郎関係文獻目録』(高木崇世芝編、2003年)、『知里真志保書誌』(同刊行会編、2003年)などが刊行されたに過ぎません。今回の報告書が、これからのアイヌ文化の学習・研究に役立つことがあれば嬉しく思います。(研究職員 小川正人)



吉田巖氏 (1921年頃)

平成20年度から公開する資料について

■研究センター音声・映像資料

当研究センターの職員が各地の伝承者・体験者等から採録した資料や、寄贈や複写による資料を公開しています。20年度には、平取、鶴川、三石、室蘭などで採録した資料のほか、寄贈いただいた複写資料1点を含む、計32点（公開用資料30点）を新たに公開します。

■山田秀三文庫 音声資料

山田秀三氏らが作ろうとしていたアイヌ語日常会話のテキスト（文書資料YF0122-03ほか）の一部を、アイヌ語話者が音読しているものやその編集物、また山田氏自身が一部を音読している資料など、計9点（公開用資料2点）を新たに公開します。

■久保寺逸彦文庫 音声資料

アイヌ口承文芸やアイヌ民俗調査の資料から順に公開準備を進めています。20年度には、網走、浦河ほかで採録された民俗調査の資料計5点（公開用資料9点）を新たに公開します。

■山田秀三文庫 文書資料

胆振・日高地方をはじめ、道内各地での地名調査の記録など計12点を新たに公開します。

利用について

これらは研究センターの閲覧コーナーで視聴や閲覧ができます。音声資料はコンピューターで、映像資料は複製DVDで視聴できます。写真資料・文書資料はプリンターからの紙焼きを閲覧していただいています。
なお、資料の複写は行っていません。

【資料の内訳】

* 音声・映像資料を視聴する時は、公開用資料番号から検索・請求してください。
* 「採録地」は、採録当時の市町村名で記してあります。

■研究センター音声・映像資料

原資料番号	表 題		語り手(敬称略)	採 録 年 月 日	採録地	公開用資料番号
	資 料 の あ ら ま し					
CC000723	鍋澤キリさんの伝承 2 (その1)	鍋澤キリ	1998 (平成10) 年 9 月 2 日	平取町去場	CC800135	
	昔の家の内外の構造、家に関わる儀礼(新築時の儀礼や、葬儀での家送りなど)、子どもの頃の遊び歌などについて、聞き取りを行ったもの。					
CC000723	鍋澤キリさんの伝承 2 (その2)	鍋澤キリ	1998 (平成10) 年 9 月 2 日	平取町去場	CC800136	
	昔の家の内外の構造、家に関わる儀礼(新築時の儀礼や、葬儀での家送りなど)、子どもの頃の遊び歌などについて、聞き取りを行ったもの。					
CC000491	鍋澤キリさんの伝承 1 【映像資料】	鍋澤キリ	1996 (平成7) 年 3 月 6 日	平取町去場	CC800137	
ヤイサマなどの歌や踊りについて聞き取りを行ったもの。						
CC000724	鍋澤キリさんの伝承 2-1、2-2 【映像資料】	鍋澤キリ	1998 (平成10) 年 9 月 2 日	平取町去場	CC800138	
CC000725	音声資料CC000723 (公開用資料CC800135-136) と同時に録画したもの。					
CC000436	三石地方の伝承 5-1 (その1)		1995 (平成7) 年 9 月 24 日	三石町	CC800139	
昔の女性の習俗、魔よけなどの儀礼、食べ物や運ぶときのまじない、ヒバリの鳴き声の歌、子守歌などについて聞き取りを行ったもの。						
CC000436	三石地方の伝承 5-1 (その2)、5-2、5-3		1995 (平成7) 年 9 月 24 日	三石町	CC800140	
CC000437	昔のしつけ、友人とアイヌ語で会話していた頃の思い出話、アイヌ風の座り方、儀式に用いる酒の材料や作り方、酒の作法などについて聞き取りを行ったもの。					
CC000438-02	三石地方の伝承 6		1995 (平成7) 年 9 月 25 日	三石町	CC800141	
日常生活の中で道路の神や、川・山・海の神に祈る言葉、魔よけ・厄よけ、カムイノミの作法などについて聞き取りを行ったもの。						
CC000445	鶴川に伝わるアイヌ文化：渋谷ハルさん 1-1 (その1)	渋谷ハル	1996 (平成8) 年 3 月 13 日	鶴川町	CC800142	
幼い頃の思い出を中心に、昔の踊りの踊り方、「オンネバシクル」で始まる遊び歌などについて聞き取りを行ったもの。						
CC000445	鶴川に伝わるアイヌ文化：渋谷ハルさん 1-1 (その2)、1-2	渋谷ハル	1996 (平成8) 年 3 月 13 日	鶴川町	CC800143	
CC000449-01	幼い頃の思い出を中心に、魔を祓うフッサなどの儀礼、アイヌ語での数の教え方などについて聞き取りを行ったもの。					
CC000493	鶴川に伝わるアイヌ文化：渋谷ハルさん 1-1 (その1) 【映像資料】	渋谷ハル	1996 (平成8) 年 3 月 13 日	鶴川町	CC800144	
	音声資料CC000445 (公開用資料CC800142-143) と同時に録画したもの。					
CC000493	鶴川に伝わるアイヌ文化：渋谷ハルさん 1-1 (その2) 【映像資料】	渋谷ハル	1996 (平成8) 年 3 月 13 日	鶴川町	CC800145	
	音声資料CC000445 (公開用資料CC800142-143) と同時に録画したもの。					
CC000414	室蘭地方に伝わるアイヌ文化 2-1	磯辺マサ子	1995 (平成7) 年 4 月 24 日	室蘭市	CC800146	
昔の女性の習俗、母の思い出、魔祓い、葬儀や家送り、昔の食べ物などのほか、少女時代の思い出などについて聞き取りを行ったもの。						
CC000902	室蘭地方に伝わるアイヌ文化 2-2	磯辺マサ子	1995 (平成7) 年 4 月 24 日	室蘭市	CC800147	
輪踊り歌、遊び歌、子守歌などの演唱や歌い方の説明のほか、民具や、人を襲ったクマの扱い方などについて聞き取りを行ったもの。						
CC001418-01	鶴川に伝わるアイヌ文化：鶴川アイヌ文化伝承保存会	鶴川アイヌ文化伝承保存会	2007 (平成19) 年 2 月 13 日	むかわ町	CC800148	
鶴川アイヌ文化伝承保存会による、2007年現在の主な上演レパートリーを採録したもの。						
CC001420	鶴川に伝わるアイヌ文化：鶴川アイヌ文化伝承保存会 【映像資料】 1、2	鶴川アイヌ文化伝承保存会	2007 (平成19) 年 2 月 13 日	むかわ町	CC800149	
CC001421	音声資料CC001418-01と同時に録画したもの。					
CC000479	鶴川に伝わるアイヌ文化：新井田セイノさんと笹村トヨさん 【映像資料】	新井田セイノ、笹村トヨ	1995 (平成7) 年 2 月 1 日	鶴川町	CC800150	
音声資料CC000406 (公開用資料番号CC800095、平成18年度に公開済み) と同時に録画したもの。						
CC000490	鶴川に伝わるアイヌ文化：三上トシ子さん 【映像資料】	三上トシ子	1996 (平成7) 年 2 月 29 日	鶴川町	CC800151	
音声資料CC000439 (公開用資料番号CC800097-98、平成18年度に公開済み) と同時に録画したもの。						
CC000492	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 吉村冬子さん 【映像資料】	吉村冬子	1996 (平成7) 年 3 月 13 日	鶴川町	CC800152	
音声資料CC000444 (公開用資料番号CC800099-100、平成18年度に公開済み) と同時に録画したもの。						
CC000495	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 三上アツ子さん 【映像資料】	三上アツ子	1996 (平成7) 年 3 月 14 日	鶴川町	CC800153	
音声資料CC000447 (公開用資料番号CC800101、平成18年度に公開済み) と同時に録画したもの。						
CC000496	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 泉辰江さん 【映像資料】	泉辰江	1996 (平成8) 年 3 月 15 日	鶴川町	CC800154	
音声資料CC000450 (公開用資料番号CC800124-125、平成19年度に公開済み) と同時に録画したもの。						

原資料番号	表題	語り手(敬称略)	採録年月日	採録地	公開資料番号
	資料のあらまし				
CC000494	鶴川に伝わるアイヌ文化 : 笹村トヨさん 1【映像資料】 音声資料CC000448(公開資料番号CC800127~128、平成19年度に公開済み)と同時に録画したもの。	笹村トヨ	1996(平成8)年3月14日	鶴川町	CC800155
CC000497	鶴沢キリさん、能登谷シゲさんの伝承【映像資料】1、2	鶴沢キリ、能登谷シゲ	1996(平成7)年5月21日	平取町去場	CC800156
CC000498	音声資料CC000454(公開資料番号CC800093、平成18年度に公開済み)の途中から同時に録画したもの。				
CC000374	平取町の伝承 20-1 アイヌ語によるウエベケレ1編(悪い母親から異母姉の命を救った妹が語る物語)のほか、折り言葉に関する聞き取りなども含まれている。	上田トシ	1997(平成9)年4月25日	平取町旭	CC800159
CC000375	平取町の伝承 20-2 音声資料CC000374(公開資料番号CC800159)のウエベケレの日本語訳と、その解説などを採録したもの。	上田トシ	1997(平成9)年4月25日	平取町旭	CC800160
CC000380	平取町の伝承 21-1 ウエベケレ1編(レンタカという土地で母と一緒に暮らす男が叔父たちと出会ったときの体験を述べる物語)の途中までを採録したもの。	上田トシ	1997(平成9)年6月27日	平取町旭	CC800161
CC000381	平取町の伝承 21-2 音声資料CC000380(公開資料番号CC800161)のウエベケレの続きと、物語の解説などを採録したもの。	上田トシ	1997(平成9)年6月27日	平取町旭	CC800162
CC000522	黒川セツの伝承 9-1(その1) アイヌ文化における植物利用などについて聞き取りを行ったもの。人体の部位のアイヌ語名称なども話題になっている。	黒川セツ、上田トシ	1996(平成8)年2月28日	平取町貴気別	CC800163
	黒川セツの伝承 9-1(その2) アイヌ文化における植物利用などについて聞き取りを行ったもの。タバコを手作りしていた頃の話や、創作した叙情歌やカムイユカラの演唱なども含まれている。	黒川セツ、上田トシ	1996(平成8)年2月28日	平取町貴気別	CC800164
	黒川セツの伝承 9-2、9-3 アイヌ文化におけるイタヤカエデ、ハンノキの利用などについて聞き取りを行ったもの。	黒川セツ、上田トシ	1996(平成8)年2月28日	平取町貴気別	CC800165
寄贈による資料					
CC001441	第1回樺太移住殉難者墓前祭の記録 江別市対雁(ついしかり)墓苑にて開催された、樺太(サハリン)からの強制移住殉難者に対する第1回墓前祭の録音記録。	樺太移住殉難者墓前祭実行委員会	1979(昭和54)年11月11日	江別市対雁	CC800157

■山田秀三文庫 音声資料

原資料番号	表題	語り手(敬称略)	採録年月日	採録地	公開資料番号
	資料のあらまし				
YC000118	アイヌ語日常会話テキスト 1~4 山田秀三氏らが作ろうとしていたアイヌ語日常会話のテキスト(一部)の、萱野茂氏や貝澤とろしの氏ほかによる音読の録音や、それらを山田氏が編集した資料など。子守歌などの演唱も含んでいる。	萱野茂、貝澤とろしの、萩中美枝	1966(昭和41)年1月21日	不明	YC800036
YC000119		ほか			
YC000172					
YC000120					
YC000175-01	アイヌ語会話テキストの練習 1~5 山田秀三氏らが作ろうとしていたアイヌ語日常会話のテキスト(一部)を、山田氏が音読しているもの。ほかに萩中美枝氏による子守歌の演唱なども含んでいる。	山田秀三、萱野茂、萩中美枝	不明	不明	YC800037
YC000166-01					
YC000180					
YC000179-01					
YC000137					

■久保寺逸彦文庫 音声資料

原資料番号	表題	語り手(敬称略)	採録年月日	採録地	公開資料番号
	資料のあらまし				
KC000018-01	民俗調査 サハリン 1 網走博物館(現網走市郷土博物館)館長の米村喜男衛氏から、戦後日本に引き揚げてきたサハリン先住民族の現状などについて聞き取りを行ったもの。	米村喜男衛	1969(昭和44)年7月	網走市	KC800058
	民俗調査 サハリン 2(その1) サハリン西海岸北部の恵須取出身の藤山ハル氏から、葬儀に関わる習俗などについて聞き取りを行ったもの。	藤山ハル	1969(昭和44)年7月	不明	KC800059
KC000018-02	民俗調査 サハリン 2(その2) サハリン西海岸北部の恵須取出身の藤山ハル氏から、葬儀に関わる習俗などについて聞き取りを行ったもの。	藤山ハル	1969(昭和44)年7月	不明	KC800060
	民俗調査 サハリン 3(その1) サハリン西海岸北部の恵須取出身の藤山ハル氏から、葬儀や出産に関する習俗を中心に聞き取りを行ったもの。	藤山ハル	1969(昭和44)年7月	不明	KC800061
KC000034	民俗調査 サハリン 3(その2) サハリン西海岸北部の恵須取出身の藤山ハル氏から、葬儀や出産に関する習俗を中心に聞き取りを行ったもの。	藤山ハル	1969(昭和44)年7月	不明	KC800062
	民俗調査 浦河 1(その1) 結婚、妊娠、出産などに関する習俗について聞き取りを行ったもの。	浦川タレ	1970(昭和45)年8月10日	浦河町	KC800063
KC000042	民俗調査 浦河 1(その2) 結婚、妊娠、出産などに関する習俗について聞き取りを行ったもの。	浦川タレ	1970(昭和45)年8月10日	浦河町	KC800064
	民俗調査 浦河 2(その1) 育児、女性の習俗、葬儀等について聞き取りを行ったもの。	浦川タレ	1970(昭和45)年8月10日	浦河町	KC800065
KC000043	民俗調査 浦河 2(その2) 育児、女性の習俗、葬儀等について聞き取りを行ったもの。	浦川タレ	1970(昭和45)年8月10日	浦河町	KC800066

■山田秀三文庫 文書資料

資料番号	表題	資料のあらまし
YF0029	北見・遠軽 52年	1977(昭和52)年7月、網走から北見、置戸、遠軽などを経て北見峠までを調査した記録。
YF0041	北海道 胆振線	1973(昭和48)年4月、札幌から中山峠を越え倶知安、喜茂別、壮瞥などを調査した記録。
YF0049	白老 59	1984(昭和59)年9月の白老川筋での調査記録。同町で行った講演の資料「白老町アイヌ語地名調査準備図」を含む。
YF0050	伊達・有珠	1973(昭和48)年3月と6月に伊達市内の黄金から有珠までを調査した記録。
YF0082-01	北海道/アイヌ語地名類集 1、2	知里真志保、ジョン・パッチェラー、金田一京助、永田方正の著作から地名関係のアイヌ語を抜き出し、アルファベット順にカード形式でまとめたもの。
YF0082-03	内地地名との発音類似	本州以南の地名で北海道内のアイヌ語地名と似た発音と思われるものをカード形式でまとめたもの。
YF0098	室蘭記 昭和35年1、2月	1960(昭和35)年1月から2月にかけての室蘭での調査の記録。
YF0119	胆振・日高地名ノート	胆振から日高にかけての海岸沿いの主な地名についての、文献の記述などを記したものの。
YF0412	札幌紀行 昭和45年3月	札幌から函館まで自動車で行き、折り返し函館から札幌までを列車で戻り、その際に撮影した写真などをまとめた記録。
YF0440	日高東部	1979(昭和54)年7月、静内から浦河までを調査した記録。
YF0587-01	沙流川上流	1枚ごとに沙流川上流の地名を記し、それぞれに関する文献の記述などを記したもの。
YF0587-02	沙流川支流	沙流川の支流の河川ごとに、その川筋の地名を記し、それぞれに関する文献の記述などを記したもの。

寄贈を受けた資料 (2007年9月～2008年2月)

発行者の50音順に資料名を掲載しました。寄贈していただいた方々・機関にお礼を申し上げます。

愛知県公文書館

・愛知の江戸時代 村の古文書・古地図から地域の原点を探る

・愛知県公文書館だより 第12号

アイヌ語地名研究会

・アイヌ語地名研究会会報 第31号

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構

・平成19年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3、4

・イランカラッテ こんにちは アイヌ文化
・平成18年度 財団の活動

アイリー出版

・北海道生活 Vol.7

青森県環境生活部県民生活文化課県史編さんグループ

・青森県史だより 第15号

アジア・太平洋人権情報センター

・国際人権ひろば No.75～77

虻田町郷土史研究会

・虻田の馬頭さん 入江馬頭観音碑建立二百年記念

いしかり砂丘の風資料館

・エスチュアリ いしかり砂丘の風資料館だより No.29

板垣昭一

・続 小説 松本十郎 北のはざま

伊藤敦規

・Marketing Hopi Jewelry in Japan: An Analysis of the Promotional Characteristics of Hopi Arts and Crafts in/to Japan

・日本におけるホピ・イメージの流通とホピによる対応

・日本における北米先住民研究の歴史と現状 文化人類学分野

・ホピ・ジュエリーの歴史的発展過程とホピによる現在の意味付け

・ホピ・ズニ アーティストショー イン ジャパン [プログラム]

伊藤務

・北海道の木彫り熊 浜田コレクション写真集

恵庭市郷土資料館

・恵庭市郷土資料館年報 13

大倉尚美

・北海道の捜索民話 龍の神とうぐい沼

大阪人権博物館

・広報誌リパティVol.40

長万部町・長万部町教育委員会

・オ・シャマンベ 長万部山村歴史ブック
・わたしたちの町 おしゃまんべ (改訂版)[小学校3・4年用社会科副読本]

学習院大学史料館

・ミュージアム・レター No.5

神奈川大学日本常民文化研究所

・神奈川大学日本常民文化研究所 2007年度
・民具マンスリー 第40巻第4号～第10号

狩野義美

・新冠・静内地方のアイヌ語 郷土史話
随筆集一わが思い出一

NPO法人 カルチャーナイト北海道

・カルチャーナイト2007 REPORT

北見市企画部市史編さん担当

・市史編さんニュース ノブケンシ
No.1～141

九州歴史資料館

・九州歴史資料館年報 平成18年度

・九歴だより No.24～26

釧路市立博物館

・釧路市立博物館々報 No.395～397

・釧路市立博物館紀要 第31輯

甲賀・湖南人権センター(滋賀県)

・inあすばる Vol.85、89～91

・あすばる 第14号～第16号

航空科学振興財団歴史伝承委員会(千葉県)

・歴史伝承委員会だより 第8、9号

講談社

・本 第32巻第12号

高知県立牧野植物園

・高知県立牧野植物園だより No.31、32

コープさっぽろ

・ぴあっと第109号

神戸市立博物館

・神戸市立博物館だより

國學院大学日本文化研究所

・折口信夫歌舞伎絵葉書コレクション

・國學院大学日本文化研究所共同プロジェクト研究報告人文科学と画像資料研究
第4集

國學院短期大学コミュニティカレッジセンター

・アイヌ語の文法 II アイヌ語数詞詳解

国立民族学博物館

・MINPAKU Anthropology Newsletter
No.24、25

・国立民族学博物館研究報告

第32巻第1、2号

・月刊みんぱく

第31巻第9号～第32巻第2号

・民博通信 No.118、119

国立歴史民俗博物館

・Ainu Past and Presentマンローのフィルムから見えてくるもの [DVD]

・歴博映像フォーラム2 Ainu Past and Present 映像をめぐる虚と実

・れきはくにいこうよ 2006 国立歴史民俗博物館 教育関連活動報告

小松隆二(著)

・公益の種を蒔いた人びと:「公益の故郷・庄内」の偉人たち

財界さっぽろ

・HO ほ Vol.15

札幌市総務局文化資料室

・「新札幌市史」機関誌 札幌の歴史 第53号

・文化資料室ニュース 第3号

札幌大学ペリフェリア・文化学研究所

・2006シンポジウム&公開講座 アイヌの植物世界 講演記録

沙流川歴史館

・沙流川歴史館だより No.27、28

山音文学会

・赤木三兵遺作集 黄色い枢

さんだる文庫

・くまのおやこ イヨマンテ

ジェイアール東日本企画

・フロームステーション 駅構内&周辺
MAP Vol.11

JTBパブリッシング

・るるぶFREE 札幌 2007年夏

滋賀県立琵琶湖博物館

・うみんど 琵琶湖博物館だより

第44、45号

・漁業・環境ミュージアム 湖魚の注文の多い料理店

滋賀大学経済学部附属史料館

・平成19年度企画展

古文書でふりかえる彦根

標茶町郷土館

・標茶町郷土館報告 第19号

社会福祉研究センター

・草の根福祉 第39号

白老町

・白老町アイヌ施策基本方針

・白老 [北海道・洞爺湖サミット向け誘致用パンフレット]

白糠アイヌ文化保存会

・「サコロペ」の研究

鈴木紀美代

・父からの伝言

世界人権宣言大阪連絡会議

・世界人権宣言大阪連絡会議ニュース
No.299～No.306

先住民の10年市民連絡会

・先住民の10年News 第137号～141号

全日空

・翼の王国 通巻461号 [全日空機内誌]

苑原俊明

・先住民の文化遺産の国際的保護:国連の動向とアイヌ民族 [論文コピー]

高木任之(著)

・北海道八雲村開墾の記録 八雲日記

高橋理

・北方先住民の儀礼:その起源と変容 [コピー]

・北海道出土縄文イノシシの属性に関する予備調査

・Ancient DNA analysis of brown bear skulls from a ritual rock shelter site of the Ainu culture

伊達市噴火湾文化研究所

・Newsletter 噴火湾文化 第3号

知多市歴史民俗博物館

・知多市歴史民俗博物館年報 第8号

千歳市総務部

・『新千歳市史』編さんだより 志古津
第6、7号

知里真志保を語る会

・樺太庁豊原高等女学校での知里真志保

天理大学附属天理参考館

・天理参考館報 第20号

・資料案内シリーズNo.29 桧野照武氏旧

蒐集資料目録5 岩手県出土品

東京外国語大学記述言語学研究室
 ・東京外国語大学記述言語学論集 思言第3号

東京都江戸東京博物館
 ・江戸東京博物館NEWS Vol.59、60

東北学院大学東北文化研究所
 ・東北学院大学東北文化研究所紀要第39号
 ・東北学院大学東北文化研究所要覧2006

東北芸術工科大学東北文化研究センター
 ・季刊 東北学 第13、14号
 ・東北文化友の会会報 まんだら Vol.33、34

東北大学東北アジア研究センター
 ・東北大学東北アジア研究センターニューズレター CNEAS 第33～35号
 ・東シナ海近現代出版文化研究 東北アジアアラカルト第17号
 ・アジア主義と大東亜戦争 東北アジアアラカルト第18号〔松本健一講演記録〕
 ・東北アジア研究 第11号
 ・地域協力から見てくる地球温暖化 東北アジア研究シリーズ8
 ・1911年モンゴル民族革命の前提条件と国際情勢 東北アジア研究シリーズ9〔ロシア語〕
 ・慶應義塾図書館所蔵閩斎堂刊『新刻増補批評全像西遊記』の研究と資料(下) 東北アジア研究センター叢書 第23号
 ・ロシア科学アカデミーシベリア支部モンゴル学・チベット学・仏教学研究 所 モンゴル語写本・版本 MⅡコレクション 注釈付目録 東北アジア研究センター叢書 第24号〔英文〕
 ・海南島の地方文化に関する文化人類学的研究 東北アジア研究センター叢書 第25号
 ・ロシア史料にみる18～19世紀の日露関係 第2集 東北アジア研究センター叢書 第26号
 ・モンゴルの環境と変容する社会 東北アジア研究センター叢書 第27号

東北電力広報・地域交流部
 ・白い国の詩 通巻600、601号

とかちエテケカンパの会
 ・とかちエテケカンパだより第6号〔とかちエテケカンパの会だより 2007年度〕

徳島県立文書館
 ・特別企画展 阿波人形浄瑠璃
 ・第34回企画展 古文書の中の子ども

長野県立歴史館
 ・長野県立歴史館だより Vol.52、53

奈良県立民俗博物館
 ・奈良県立民俗博物館研究紀要 第22号
 ・奈良県立民俗博物館だより Vol.34 No.1、2

二風谷アイヌ語教室
 ・二風谷アイヌ語教室 広報紙第85～87号

沼津市明治史料館
 ・平成19年度第2回企画展 愛知県にあった沼津藩領

萩中美枝(著)
 ・アイヌ文化への招待：女性と口承文芸

函館市文化・スポーツ振興財団
 ・タマサイの美 函館コレクション バルク・カンパニー(編集・発行)
 ・イーストサイド 016

反差別国際運動日本委員会
 ・IMADR-JC通信 No.150～152

船橋市郷土資料館
 ・船橋市郷土資料館 資料館だより 第88、89号
 ・船橋市郷土資料館小企画展示 資料観覧のてびき 漁業の道具
 ・18年度企画展 資料観覧のてびき 下総国車方村の書付類

部落解放・人権研究所
 ・研究所通信 No.348～354

文化学園図書館
 ・図書館だより〔文化学園図書館〕 No.145

平安文化センター
 ・KYOTO JOURNAL 63

別海町郷土資料館
 ・別海町郷土資料館だより No.93～103
 ・加賀家文書現代語訳 第5巻

北海学園大学
 ・北海学園大学 学報 第72号
 ・北海学園大学学園論集 第133、134号

社北海道ウタリ協会
 ・アイヌの伝統的生活空間 イオルの再生に向けて

北海道開拓記念館
 ・カナディアン・ロッキーと大平原のくに：アルバータにいきづく多文化
 ・北海道開拓記念館だより Vol.37No.2
 ・北海道開拓記念館研究報告 第17号 貝取洞2洞窟遺跡
 ・北海道開拓記念館研究報告 第18号 絵画史料に見る近世中期から明治初期の北海道生活誌

北海道環境財団
 ・北海道環境財団月刊ニュースレター TGAL No.118～123

北海道観光連盟
 ・ガイド教本・アイヌ民族編

北海道教育庁学校教育局
 ・ピラサ 第1号

北海道ジェイ・アール・エージェンシー
 ・The JR Hokkaido No.237

北海道詩人協会
 ・資料・北海道詩史

北海道大学アイヌ・先住民研究センター
 ・北海道大学アイヌ・先住民研究センター国際シンポジウム アイヌ文化振興法の過去・現在・未来 予稿集
 ・ACADEMIA JURIS BOOKLET 2007 No.25 二風谷ダム判決とその後

北海道大学(総合博物館、大学院水産化学研究院、北方圏フィールド科学センター植物園)
 ・湯川秀樹&朝永振一郎生誕百年記念展
 ・H19年度文部科学省特別研究促進費研究成果公開事業シンポジウム 中世日本列島北部～サハリンにおける民族の形成過程の解明

・海洋調査漁業試験要報 第50号
 ・北海道大学水産科学研究彙報 第57巻 第1・2号
 ・北大植物園研究紀要 第7号

財北海道文化財保護協会
 ・文化情報 第303～305号

財北海道埋蔵文化財センター
 ・北海道埋蔵文化財センター年報8 平成18(2006)年度
 ・恵庭市西島松3遺跡・西島松5遺跡(5) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書248
 ・恵庭市柏木4遺跡(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書249
 ・白滝遺跡群Ⅷ 北海道埋蔵文化財センター調査報告書250
 ・テエタ 北海道埋蔵文化財センターだより 第18、19号
 ・調査年報 20 平成19年度

北海道立衛生研究所
 ・北海道立衛生研究所報No.57
 ・北海道立衛生研究所事業年報 平成18年度

北海道立中央農業試験場
 ・平成18年度
 北海道立中央農業試験場年報

北海道立図書館
 ・木版蝦夷地区にみる北海道 北方資料室所蔵資料を中心として

北海道立北方民族博物館
 ・平成18年度年報
 ・第22回特別展 環北太平洋の文化Ⅱ 北方民族博物館だより No.66、67

北海道立文書館
 ・赤れんが 北海道立文書館報 No.43

財北方圏センター
 ・季刊 北方圏 第141、142号
 ・ブルータス 第28巻第14号

湊の文学館(室蘭市)
 ・むろらん 港の文学館通信 Vol.35

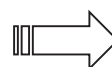
室蘭認知科学研究会
 ・認知科学研究 第5号

盛岡市先人記念館
 ・盛岡市先人記念館だより No.39

ヤイユーカーの森
 ・Yay Yukar Park57、58

陸別町教育委員会
 ・史跡ククエピラチャン跡 陸別町文化財調査報告第2集

海外
 ・Taiwan Journal of Anthropology Volume 5 Number 1
 〔台湾人類学刊第5巻第1号〕
 ・原教界 原住民族教育情報誌 第18期12月号



センターのホームページでは、三ヶ月ごとに寄贈を受けた資料のほか、購入した資料などについてもお知らせしています。

行事など

●平成19年度の企画展「アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー2007・胆振／日高」終了

平成19年度の企画展は、8月18日から10月14日まで、6会場で開催しました。

多くの皆様にご来場いただき、まことにありがとうございました。



講演会のような様子(伊達市)

●平成20年度の企画展「アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー2008・渡島／檜山／津軽海峡」

アイヌ語地名研究の第一人者である故・山田秀三氏の地名研究を通して、アイヌ語地名の世界を紹介する企画展「アイヌ語地名を歩く」を、平成16年度から毎年開催しています。平成20年度は、市立函館博物館との共催で、函館市で開催します。北海道の渡島・檜山地方を中心とする地名研究資料などのほか、海峡を挟んだ青森県の津軽・下北地方での地名調査記録などを紹介します。

■場所・期間

- ・市立函館博物館（函館市青柳町17-1函館公園内）
10月9日(木)～11月16日(日)(休館:10月13・14・20・27・31日、11月4・10日)
※常設展入場料が必要です(おとな¥100、学生・生徒・児童¥50)。
- ・函館市中央図書館（函館市五稜郭町26-1）
10月7日(火)～10月18日(土)（休館：10月8・15日）
※中央図書館では、パネルを中心としたミニ展示を行います。入場無料。

■関連事業（講演会・講座） ＊いずれも入場無料

- ・10月11日(土) 13:30～17:00 函館市中央図書館
講座(13:30～) 「アットウシの歴史を遡る
ー海峡を挟んだ、生産・流通・着用の歴史ー(仮題)」
本田優子氏(札幌大学教授)
講演会(15:00～) 「山田秀三氏の道南・青森での地名調査(仮題)」
佐々木利和氏(国立民族学博物館教授)
- ・10月12日(日) 13:30～15:00 市立函館博物館
講座 「山田秀三文庫の渡島・檜山地方に関する地名調査資料について」
研究センター職員
- ・10月18日(土) 13:30～17:00 函館市中央図書館
講座(13:30～) 「渡島・檜山地方のアイヌ民族資料について(仮題)」
谷本晃久氏(北海道教育大学准教授)、研究センター職員
講演会(15:00～) 「山田秀三文庫と渡島地方の古地図(仮題)」
高木崇世氏(アイヌ語地名研究会会員)

詳細は、次号の『センターだより』でお知らせするほか、チラシやポスターをご覧ください。また、当研究センターのホームページにおいて随時お知らせします。

センターの刊行物

平成19年9月から平成20年3月までに、この『センターだより』28号のほか、次の刊行物を発行しました。

■『吉田巖書誌 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査報告書4』

■『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』14号

(以下は表題と執筆者名です)

- [論文] 伊達地方のアイヌ語方言の文法的特徴 佐藤知己
- [論文] アイヌ語十勝方言の接続助詞wa, tek, ahinneについて 澤井春美
- [論文] 増補・虚構としての〈あいぬの風俗〉 竹ヶ原幸朗
- [資料紹介] アイヌ文献目録 2006 アイヌ文献目録編集会

- ・『調査報告書』『研究紀要』は、北海道行政情報センター（道庁別館3F/011-231-4111内線22-389または011-241-7979）で有償頒布しています。
- ・『センターだより』は当センターのホームページでもご覧いただけます。28号は発行日から約2週間後に掲載します。

平成19年度後半の動き

■行事など

- ・企画展「アイヌ語地名を歩くー山田秀三の地名研究からー2007・胆振／日高」(白老町・平取町・苫小牧市・室蘭市・日高町・伊達市)(9～10月)
- ・講演会「アイヌの物語世界と地名」(苫小牧市／講師：中川裕氏、9月)
- ・講演会「上と下ーアイヌの地理的認識ー」(室蘭市／講師：切替英雄氏、10月)
- ・講演会「伊達地方のアイヌ語・アイヌ文化」(伊達市／講師：本田優子氏、佐藤知己氏、伊達市噴火湾文化研究所職員、研究センター職員、10月)
- ・共同研究「北海道内の主要アイヌ資料の再検討」調査(札幌市／参加：古原)(11月、12月、3月)

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター

2008年3月25日

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 5階

電話 011-272-8801(代) FAX 011-272-8850

月～金/9:00～17:00(土・日・祝日/休)

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/abc>

この広報紙は、環境に配慮した用紙を使用しています。